

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
プライマリーメディカルケア	必修	講義 1	4	2		救急医学講座・安部 隆三
【科目名の英文】 Primary Medical Care						
【授業の概要】 ・救急疾患(内因性および外因性)を主な対象として、統合された知識、技能、態度に基づき、患者の立場を尊重しつつ、全身を総合的に診療するための実践的能力を獲得する。さらに、多数傷病者に対する災害医療についてもより深く学ぶ。						
【具体的な到達目標】 《救急医学》 ① 救急外来でのAdvanced Triageの方法を説明できる ② 重症・不安定傷病者へのアプローチ方法を説明できる ③ ABCDEアプローチによる系統的な観察と評価、同時に必要な処置・蘇生の実施方法について、症例を用いて説明できる ④ 循環不全、呼吸不全、中枢神経障害の評価と治療について、症例を用いて説明できる ⑤ 院内急変患者に対する対応と急変・重症化の予防に関して説明できる ⑥ 多数傷病者に対するトリアージ方法と基本的考え方を説明できる						
【授業の内容】						
回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法		
1	重症・不安定傷病者へのアプローチ1	救急外来での患者対応・ABCDEアプローチ	救急医学・安部	講義		
2	重症・不安定傷病者へのアプローチ2	事前課題を用いたグループワーク		グループワーク		
3	重症・不安定傷病者へのアプローチ2	循環不全・呼吸不全の評価と治療	救急医学・黒澤	講義		
4	重症・不安定傷病者へのアプローチ3	事前課題を用いたグループワーク		グループワーク		
5	重症・不安定患者へのアプローチ3	中枢神経障害の評価と治療	高度救命救急センター・塚本	講義		
6	重症・不安定患者へのアプローチ4	院内急変対応	救急医学・安部	講義		
7	災害医療	All-Hazards preparedness, SALT Mass Casualty Triage	救急医学・竹中	講義		
【アクティブラーニングの内容】 発問を活用しつつ、適宜、ディスカッションを行う。			【その他の工夫】 講義スライドデータはPDF ファイルで配布予定			
【時間外学修の内容と時間の目安】 参考書、配布資料を用いた予習、および当日の講義復習を、概ね 30 分程度求める。 また、事前に課題を提示し、講義当日に発表してもらう場合がある。事前課題があれば、Moodle 上で通知する。						
【教科書】 Moodle で資料を提示する。						

<p>【参考書】 標準救急医学 医学書院；第5版 ISBN-10: 4260017551 救急診療指針 へるす出版；第5版 ISBN-978-4-89269-945-0</p>		
<p>【成績評価方法及び評価の割合】 講義中に実施する小テスト(30%)、期末試験(70%)。総合的に 60%以上の得点で合格とする。</p>		
<p>【注意事項】</p>		
<p>【備考】</p>		
教員の実務経験の有無	○	医師
教員以外で指導に関わる 実務経験の有無	×	
実務経験をいかした 教育内容	救命救急診療経験を生かした講義を行う。	
授業形式	対面	